



現在の子どもの様子		ねらい	行事	自己評価
<p>・過ごしやすい気候になり散歩に行くことを楽しんでいた。また、一人一人散歩バックをもつことで戸外へ出ることの楽しさと虫探しなど自然物の収集を喜んでた。(どんぐり・虫・花など)</p> <p>・保育者に認められ褒められてもらうことで、活動に意欲を見せる子が多かった。</p> <p>・雨の日は、子どもたちが自然にコーナー遊びを取り入れて遊ぶ姿があった。また、役割分担を話し合うことも少しずつ出来るようになる。集団遊びも、ルールをきちんと覚え保育士がいなくても子どもたちだけで遊べる。トラブルがあると子どもたちで話し合うが、解決が難しい時は保育士に説明して助けを求めることができる。</p> <p>・水族館遠足を楽しみにしていて、遊びの中で遠足ごっこを楽しむ姿もあったので、水族館へ行った後の子どもたちの様子が楽しみに思う。</p>		<p>・友だちと一緒に戸外で十分に体を動かして遊ぶ。</p> <p>・秋の自然に触れて遊ぶことを楽しむ。</p> <p>・遊びを通して運動会競技を楽しんでいく。</p>	<p>2日(肉桂麻酔9時半 4日(肉桂麻酔遠足 11日(肉桂麻酔訓練 12日(肉桂26日(肉桂麻酔 17日(肉桂麻酔後診 19日(肉桂おはなし会 24日(肉桂麻酔集会 29日(肉桂麻酔会りハーサル 30日(肉桂麻酔組天王町公園遠足</p> <p>地域との関わり</p> <p>散歩先でしっかり挨拶を交わし、交流を持つ。</p>	
内容	環境構成	保育士の配慮		取り組みの状況と保育士の振り返り
<p>・手洗い、うがいを丁寧にこなすようにする。</p> <p>・気温や体調に合わせて衣類の調節をすることや、汗の始末や水分補給の大切さを知り、快適に過ごせるようにする。</p> <p>・友だちや保育者との関わりの中で自分の気持ちを表し、意欲を持って行動しようとする。</p> <p>・晴れた日には戸外でからだを十分に動かして遊ぶようにする。(運動会ごっこなど) また、目標に向かい、思いっきり体を動かしているいろいろな運動遊びを楽しむようにする。</p> <p>・共有の用具や遊具を大切に、片付けを丁寧にこなすようにする。</p> <p>・公共の場でのマナーや約束を知り、意識して行動しようとする (バス、水族館など)。</p> <p>・秋の自然の変化に、興味・関心をもっていく。(気温の変化や、空の色、雲の形、木の葉の色づき、木の実、秋に見られる虫など。)</p> <p>・昔話や童話・素話などを楽しんで聞き、物語の内容を理解しようとする。</p> <p>・質問や問いかけに、自分なりに答えようとする。</p> <p>・散歩などで拾ってきた、木の実や落ち葉などの自然物で、製作あそびを楽しもうとする。</p> <p>・音楽に親しみ、曲やリズムに合わせて体を動かしたり歌ったりすることをしようとする。</p>	<p>・水道が混み合って危険がないように、順序よく行うように伝える。</p> <p>・衣類の調節や汗の始末が出来ない子どもには言葉を掛け、気づけるようにする。</p> <p>・自分の思いが認められたという体験を通して、自信が持てるようにする。</p> <p>・園庭にトラックの線を書いたり、用具を使えるように準備しておいたりするなど、子どもの興味に応じた対応をする。</p> <p>・運動遊びが楽しめるように、遊具や用具を使いやすいように整える。また、片付けやすいよう、物の置き場を分かりやすく伝えておく。</p> <p>・友だちと協力して行なう運動遊びを取り入れる。</p> <p>・公共の場や乗車のマナー、約束事をしっかり伝え、意識をもたせる。</p> <p>・園外に出掛ける機会を多くもち、自然に十分に触れることができるようにする。</p> <p>・子どもが楽しめるような内容の物語を用意し、イメージを膨らませたり、落ち着いて見たり聞いたり出来る場を設ける。</p> <p>・自分気持ちを言葉で表現する場をつくる。</p> <p>・製作に必要な用具などの準備をする。(画用紙、ポンド、のり、ハサミなど。)</p> <p>・色々な太さの筆や画用紙を用意する</p> <p>・親しみがわき、リズムの取りやすい曲や歌を取り入れる。</p>	<p>・体調を崩しやすい時期なので、より丁寧に手洗い、うがいを必要性を知らせ、気付けるようにする。</p> <p>・一人ひとりの体調やあそびの様子に応じて、きめ細かく対応し、自分で気づいて、衣類の調節や汗の始末ができるようにしていく。</p> <p>・必要なときにはアドバイスをするなど、互いに伝え合う大切さを知らせるようにする。</p> <p>・運動あそびを十分楽しめるように、用具などを使いやすいように整え、また破損などが無いかなど、確認する。</p> <p>・子どもの努力する姿や成果を十分に認め、励ます。</p> <p>・玩具や本などの片付け方や扱い方を知らせ、大切にしようとする気持ちをもてるようにする。</p> <p>・一人一人の姿を認め、友だちの良いところに気付けるよう働きかける。</p> <p>・公共の場では事前にも伝えるが、そのつど必要な言葉をかける。</p> <p>・園生活のなかで、自然の変化に気づくことができるよう、普段から、虫や木の実、木の葉の色づきなどについて話題にし、図鑑などを見る時間をもつ。</p> <p>・話を聞きながら子どもがイメージを広げられるように、話の仕方や雰囲気づくりの工夫をする。</p> <p>・話を聞く姿勢を繰り返し伝え、気付かせるとともに、自分でやろうとするのを待つ。</p> <p>・木の実や落ち葉などを使用したあそびの紹介や、十分に製作を楽しめるように、用具や素材を準備しておく。</p> <p>・クレヨンや筆を使い、自由にのびのびと描く姿を十分に認める。</p>		
<p>・食材の栄養の種類を知り、食べる意欲につなげる。</p> <p>・肉まんづくりに挑戦してみる。</p>	<p>・色別に分けた栄養図の掲示を行う。</p> <p>・手洗いをしっかりとできるように声をかけていく。</p>	<p>・食に関する絵本などを用意し、興味や関心が持てるようにする。</p> <p>・肉まんの皮がどんな風にできるのか、また、自分で具を包み食べる喜びを味わえる様に楽しめるよう配慮する。</p>		